

令和元年 11 月 18 日

様

社会福祉法人 日本フレンズ奉仕団
理事長 飯田 能子

第 11 回フレンズ祭り・第 21 回フレンズリサイクルバザーを終えて
～ご協力に対するお礼と感謝～

拝啓 紅葉の季節を迎えました。皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

去る 10 月 27 日（日）のフレンズ祭りは、心配された天候も薄日の射す日和に恵まれ、来場者は昨年より 90 名ほど多く 340 名の人々でにぎわいました。

今年は昨年が続いてバザー会場にイベントコーナーを設け、サバ缶の調理例を試食していただいたほか、手作りのケーキを販売しましたが、地域貢献事業の一環として行っているフレンズ弁当を 20 食(1 食 500 円)用意し、併せて喫茶室で職員が制作したスライドを上映し、地域貢献事業・フレンズサポートの活動を来場された皆様に観ていただきました。

恒例となった地域の方々による手づくり品は、作り手のご奮闘により沢山の品物が寄せられ、昨年を上回る売上げがありました。また、リサイクル品としての衣類や雑貨類にも多くの方からの献品があり、リサイクルバザーならではの貢献をしていただきました。協賛団体には昨年同様に物品販売やサービス提供のご支援をいただきました。

最終的なバザー会計は、材料費や諸経費を除いた利益 225,677 円（昨年は 209,308 円）に寄付金 51,000 円を加えた 276,677 円となりました。

このバザーによる浄財は、職員研修大会の奨励賞の財源およびフレンズ祭りの備品（模擬店のテーブルと椅子）の買い替え費用に使わせていただきます。

最後になりましたが、テントの設営および撤去に馳せ参じてくださった地元町会の皆様に厚くお礼を申し上げます。

今年も 1 ヶ月半を残すのみとなりましたが、健康に留意されて、楽しい年の瀬をお迎えください。

敬具



フレンズサポート活動紹介



地域の皆さんと一緒に



大盛況のバザー会場